

第46回北陸信越薬剤師学会に参加してきました！

平成25年11月3日・4日 ホテル金沢で行われた学会にみどり薬局薬剤師4名、あわの薬局薬剤師1名参加してきました。

今回はみどり薬局から口頭発表（参加者の皆さんの前で研究内容を発表すること）を行いました。近隣の医療機関と連携をとり、糖尿病患者様へのお薬の説明についてまとめたものを発表しました。

<職員の感想から>

「薬剤師の謎解き能力は、医師の解剖・整理・病理・病態から来る診断とは異なっている。それは薬理・製剤・薬物動態から判断される、違うアプローチで一人の患者を診るので共同管理。その真ん中にバイタルサインがある。薬学が医療に組み込まれたときに「処方案の提案」が薬剤師の業務として確立する。」

と、なかなか刺激的な話が、続きました

患者さんが治療という名のマラソンを無事に完走できるように給水所のスタッフとしてではなく、伴走のコーチとしてしっかり患者さんの状態をみながら付き添っていけるよう、薬剤師の専門性を活かしたアセスメントをしていきたいです。



湿布のメーカー、GEか先発かによって粘着度やにおいなど違いはあるのか検証している発表にとっても興味をもてました。先発でもGEでも粘着性や中の成分に大差はあまりないとの検証結果をみましたが、患者さん個々でも同じ湿布でも先発とGEでは搔痒感が異なる人もいますので、添加物を検証していくことは非常に大事なことを知りました。

今回もたくさんのお話を学ぶことができた学会でした（＾＾）v